

北九州記念

本命はタイセイビジョン。

同コースの主要ローテ CBC 賞よりも、
欧州指向の末脚が決まるレース、馬場を想定。

タイセイビジョンの父は欧州型。
CBC 賞よりも欧州指向の馬場と先着を許した馬との
斤量差も詰まることで逆転は可能。

土曜の芝 1200m はナスルーラ系好調。
タートルボウルは母方にナスルーラ系のグレイソヴリンを持つこともあり、
ナスルーラ系が走りやすい馬場の小倉も得意。

相手は欧州型で芝 1200m 重賞の期待値高い
ロードカナロアが人気薄で絡むことに期待。

なかでも末脚型のボンボヤージ、キャプテンドレイク。
ファストフォースは母父ナスルーラ系で昨年の 2 着馬。

札幌記念

本命はグローリーヴェイズ。

父がディーピンパクト。母父は米国型のスウェプトオーヴァーボード。

2018年以降の札幌記念は、ディープ産駒が出走した場合、4年連続で馬券に。

人気より走って馬券になったディープ産駒の母父はすべて米国型。もしくはミスタープロスペクター系。

JRAの番組体系では2000mのG1レースはマイル指向のスピードを持続する平坦レースがないために、長距離ばかりを使われていますが、本来、マイル指向のスピードも要求される平坦の中距離戦は得意な馬。

平坦コースで行われた香港の芝2000mG1クイーンエリザベス二世Sカップでは昨年の当レース2着馬ラヴズオンリーユーと接線の2着。三冠牝馬デアリングタクトには先着。

牝系にノーザンテースト。

古馬になってキャリアを積むことが強みになる血統。

また、ノーザンテーストはデインヒルのような欧州型のダンチヒ系が走りやすいレースも走りやすい適性を持つ種馬。

当レース、今の馬場もダンチヒ系にも相性が良いです。